

図書館だより

平成 24 年 11 月 1 日発行 No.89

編集・発行

武蔵野市立図書館

Tel.0422-51-5145(中央)

図書館ホームページで蔵書検索、貸出・予約状況確認、延長手続きができます！

URL <http://www.library.musashino.tokyo.jp/>

モバイル版 URL <http://www.library.musashino.tokyo.jp/m/>



本の中の武蔵野市 その3

その1-No.71

その2-No.75 もあります

武蔵野市を舞台にした本を紹介します。本を通してみるといつもの見慣れた町が一層魅力的に見えるかもしれません。()は所蔵館です。記載のないものは全館で所蔵しています。

『吉祥寺横丁の逆襲』 桑原才介／著 言視舎 291.3／ク(中央)、M／V6-10

ビジネスストーリー、闇市の記憶、都市計画、人物、ジャズ、酒場、そして本物の名店・・・。「住んでみたい街ナンバーワン」吉祥寺の横丁の文化と歴史を掘りさげ、そのエネルギーの噴出をひもとく。

『よみがえれ！老朽家屋』 井形慶子／著 新潮社

527／イ(中央・吉祥寺)、PA527／イ(プレイス)

吉祥寺の人気商店街のそばで見つけた一軒家。「取り壊しが前提」と言われた築 31 年の建て売りだが、350 万円で「終のリフォーム」が完成。

『1坪の奇跡』 稲垣篤子／著 ダイヤモンド社 588.3／イ、M／V6-10(中央)

たった 1 坪で年商3億。品数は羊羹ともなかの2品だけ。それでも 40 年以上早朝からとぎれない行列秘話、父との葛藤、障がいのある社員との話・・・。羊羹を練り続けて半世紀以上の、吉祥寺「小ざさ」社長がいま語り継ぐ物語。



『いのけん』 井の頭公園検定実行委員会／編纂 ぶんしん出版

629.3／イ(中央・プレイス)、Y629／イ(中央・プレイス)、62／イ(中央・プレイス)、M／D2-10

2012 年 12 月に第1回が開催される「いのけん(井の頭公園検定)」の公式問題解説集。歴史や魅力・不思議・問題など、井の頭恩賜公園を楽しく学べる入門書。

『コーヒーの鬼がゆく』 嶋中芳／著 中央公論新社 B673.9／シ(吉祥寺)、673.9／シ

我を忘れて焙煎にのめり込み、生豆を選び抜き、抽出温度1℃の違いを見極めて、ダイヤモンドのような1杯を追い求めた稀代のコーヒー求道者、吉祥寺「もか」店主・標交紀の生涯をたどる。

『チャコズガーデン』 明野照葉／著 中央公論新社 913.6／ア

吉祥寺にある瀟洒な分譲マンション「チャコズガーデン」に、小学生ケイトたちの一家が引っ越ししてきた。それを機に、マンション内で奇妙な出来事が立て続けに起こり……。

『トーキョー・ジャンヌダルク』 石崎洋司／著 講談社 Y913.6／イ

都立武蔵野高校に通う金井雪は、同級生の市川から、家出した神山久美子の捜索を頼まれる。友人のサキ、舞らとともに彼女の行方の謎を追いかけるうち、あるインディーズ・バンドの存在と、久美子の父親の秘密が浮かび上がり……。吉祥寺駅、サンロード、東急百貨店裏などが舞台。

『草野心平日記 2』 草野心平／著 思潮社 915.6／ク2(中央)

戦中戦後から最晩年に至るまで45年間にわたって書き続けられた未公開の日記・手帖114冊を、詩人の没後16年に公刊。2巻は1964～73年の日記・手帖24冊。武蔵境の「日赤病院入院日記」も収録されている。



『もう君を探さない』 新野剛志／著 講談社 913.6／シ(中央)

クラスの女生徒が家出した夏、ヤクザになったかつての教え子・本間が殺された。私立女子校の英語教師・高梨は、生徒の行方を追い求め、吉祥寺の街を走る。

『不動産小説・巴銀之助の奮闘』 藤山勇司／著 テクスト 913.6／フ(中央)

三鷹にある小さな不動産屋を舞台に、日々繰り上げられる騒動。それを獅子奮迅の働きで解決するのは、いまは隠居身分の巴銀之助。この道50年の知識と経験で、不動産にまつわる事件を解決していく。武蔵境や「むさしのFM」なども出てくる。

『武蔵野少年物語』 本所次郎／著 ポプラ社 913.6／ホ

昭和20年、まだ別荘地の面影を残す吉祥寺に一家は引っ越す。中央線沿線を舞台に、戦中戦後の厳しい時代を逞しく生きる少年を描いた青春小説。続刊『吉祥寺の朝焼けに歌えば』

『歪んだ複写』 松本清張／著 新潮社 B913.6／マ(プレイス)

武蔵境で起こった事件を追う新聞記者は、次第にあまりにも意外な事件の核心にふれてゆくこととなる。悪徳税務署員が招き寄せた3つの事件を通して、脱税に、収賄にと、腐敗した税務署の内情が暴かれる。*『松本清張小説セレクション5』『松本清張全集11』にも収録。

『ダンス・ウィズ・ドラゴン』 村山由佳／著 幻冬舎 913.6／ム

井の頭公園の奥深くひそむ、夜にしか開かない図書館。「龍」を祀る旧家に育った血のつながらない兄妹は、消し去れない想いを抱き合い、記憶と今を結ぶため故郷を訪れる。

『懐かしの吉祥寺』 土屋惇／著・写真 安田知代／編集・文章 ぶんしん出版 MB8-10

昭和9年から井の頭在住の写真家の本。井の頭プールでスケート!?ミス井之頭が水着姿でパレード!?新聞記事と写真でたどる昭和の風物。ページをめくるたびに懐かしさがこみ上げてくるセピア色の貴重なシーンの数々。